

	経済	文化	人・地域づくり
<p><b>新たな価値創造2045</b></p>	<p><b>1 生産性向上と新たな価値創造の創出</b> 労働力減少に対応した生産性向上とストックを活かした新たな需要創出を図る「<b>とやまバリュー</b>」の創出を目指す</p> <p>(1)第4次産業革命を勝ち抜くための製造・研究開発拠点の整備 ○富山型スマート工場モデルの普及 ○素材技術を活かした「材料科学研究拠点」の設置 ○完全自動走行車の部品供給拠点 ○アルミ技術等を活かした宇宙、航空機産業の技術開発拠点の形成</p> <p>(2)とやま産！再生可能エネルギー活用日本一と水素社会の構築 ○豊富な資源量を活かした地熱発電所の建設 ○富山の技術を活かした水素社会の構築 ○表層型メタンハイドレートの調査研究</p> <p>(3)バイオ技術を活かした「薬都とやま」の確立 ○酵素反応による医薬品生産 ○ものづくり企業との連携による製薬機器の開発、○バイオ医薬品製造技術の推進、国家的研究所の誘致</p> <p>(4)成長産業として力強く魅力あふれる農林水産業の確立 ○「とやま型水田スマート農業」システムの構築、○健康機能性水稲新品種の開発、食の海外展開 ○スギ花粉症ゼロ社会 ○富山湾海洋牧場</p> <p>(5)北陸新幹線大圏延伸による大ゴールデン回廊形成と拠点性の強化 ○「環状型新幹線」の形成 ○新幹線の貨物搭載による物流活性化</p>	<p><b>2 地域文化が生活に溶け込む「生活文化デザイン王国」の形成</b> 富山の文化的ポテンシャルを活用・発展させ、県民生活に溶け込む「生活文化デザイン王国」を目指す</p> <p>(6)未来の生活様式を見据えたアート・デザイン県とやまの創出 ○県総合デザインセンターの機能強化、「デザイン拠点TOYAMA」○「とやま未来伝統産業カレッジ(仮称)」の開講 ○KOGEIの魅力発信、アートとデザインを活用した活性化</p> <p>(7)30年後の未来に残る普遍的なクリエイティブな文化の創出 ○クリエイターやコンテンツ産業の集積 ○工芸技術の高さを活かした「アニメ工芸」という新ジャンル形成 ○マンガ・アニメ聖地を巡る観光誘客、拠点整備</p> <p>(8)文化芸術資源をもとにした文化芸術クラスターの形成 ○文化芸術資源等の拠点化による「文化芸術クラスター」の形成 ○伝統芸能、生活文化等のVRを活用したデジタルアーカイブ化 ○国内外の美術館と連携した「バーチャルミュージアム」の構築</p>	<p><b>3 価値創造力を高める学校教育プログラムの確立</b> 社会や企業が求める基礎力、イノベーションを生み出す「<b>富山・新スタンダードの確立</b>」を目指す</p> <p>(9)未来のイノベーションを起こすために必要な人材の育成 ○コミュニケーション能力等のヒューマンスキルを伸ばす人材の育成 ○ICTリテラシー、プログラミング教育等の実践 ○ヒューマンスキルとテクニカルスキルを融合したモデル校の指定</p> <p>(10)未来社会が求める人材を輩出する新たなキャリア教育システムの確立 ○産学官による「キャリア教育コンソーシアム(仮称)」の設立 ○幼児期から高校までの体系的なキャリア教育プログラムの開発 ○(独)教員研修センターを通じた開発プログラムの全国的普及</p> <p>(11)第4次産業革命を見据えた人材育成のための教育研究体制の構築 ○県立大学の次に応じた学科の再編(知能ロボット工学科など) ○県立高校におけるプロダクトデザインを専門とした学科創設</p>
<p><b>グローバル＆ローカル2045</b></p>	<p><b>4 世界に存在感を示す「とやまグローバル戦略」の展開</b> 新興国をはじめとした成長エネルギーを取り込みながら、世界で存在感を示すグローバル戦略の形成を目指す</p> <p>(12)「とやまグローバル戦略」の推進 ○「とやまグローバル戦略」の策定 ○専門家集団による「とやま産業海外展開支援機構(仮称)」の設置 ○現地ニーズにマッチした工業製品、農水産品、環境技術の輸出促進</p> <p>(13)選ばれ続ける観光地 富山 ○立山地域における山岳スキーの振興○海と山を楽しめる宿泊施設の整備</p> <p>(14)アジア諸国とのネットワーク構築による「とやまの薬」の国際展開 ○アジア等の行政官に対する公衆衛生等を含む総合的研修の実施 ○人材ネットワークの構築と県内医薬品産業の国際展開の促進</p>	<p><b>5 世界に開かれた「とやま文化」の発信</b> 自己認識の基点となる文化の国際化を促進し、文化と産業、文化と観光の親和性を高め、とやま文化発信を目指す</p> <p>(15)世界への発信による「とやま文化GDP」の拡大 ○世界に誇る文化イベントの発展、新たな国際イベント形成 ○産業施設、文化財、文化施設のユーク ベニューによる観光資源化 ○高志の国文学館を中心とした富山芸文の国内外への発信</p> <p>(16)アジアの舞台芸術拠点「TOGA」による地域の活性化 ○国際的に優れた舞台芸術作品の創造と発信 ○世界の演劇人を指導するトレーニング・プログラムによる舞台芸術人の育成</p>	<p><b>6 ふるさと教育とグローバル教育の融合 (Think global, Act local)</b> 学校、家庭、地域が一体となったふるさと教育(学習)を推進するとともに、グローバル化に対応した教育環境を整備</p> <p>(17)富山が誇る「ふるさと富山」の探究(「とやま藩校」の体制整備) ○ライフステージに応じたふるさと学習(「とやま藩校」)の体制整備 ○万葉集や富山湾、売薬など教科横断的に学ぶ学科等の創設</p> <p>(18)郷土を学び英語で伝えるコミュニケーション能力の養成 ○幼児期から高校までの英語教育プログラムの開発 ○ふるさと教材を英語教育に活かした「とやまミット」の開発</p> <p>(19)大学や高校におけるグローバルな教育環境の整備 ○単位化、グローバル教育研究センターの設置、グローバル枠制度の導入、国際学科の創設、留学生の相互受入、中国語日本一プロジェクト</p>
<p><b>人・地域が輝く2045</b></p>	<p><b>7 個の力を磨き上げ、潜在力を高める人材戦略の推進</b> 高度専門人材の育成確保、クリエイティブ人材の創出、高齢者や女性のパワーアップなどの人的資源戦略を進める</p> <p>(20)生産年齢の引上げによる高齢者の活用促進(「かがやき現役率」の向上) ○生産年齢再定義による「かがやき現役率」(例えば65歳以上就業)の向上 ○とやまシニア専門人材バンクとの連携による就業ニーズへの対応 ○高齢者も対象にした起業希望者向けのサポート</p> <p>(21)若者や女性などが個性と能力を十分発揮できるキャリアアップの仕組みの構築 ○多様な職業能力開発機会の提供(複線的キャリアアップの推進) ○女性の活躍促進とワークライフバランスの向上 ○テレワークの推進</p>	<p><b>8 文化芸術の力による「元気とやま」の牽引 文化の場づくりと文化の人づくりを促進し、文化の力が持つ心の癒し、生きがいづくりにより元気富山を牽引</b></p> <p>(22)学校と地域でつくる文化の担い手育成 ○子供たちのための「芸術文化体験プログラム」の確立・展開 ○国内外の一流指導者と協力した文化の担い手養成 ○若手芸術家の育成(作品の発表や展示機会の提供)</p> <p>(23)芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出 ○「環水公園芸術文化ミュージアム構想」の推進 ○舞台、ステージと同様の環境で練習を行うことができる拠点形成 ○全天候型の文化・スポーツ施設(アリーナ)整備</p>	<p><b>9 地域の生産性、問題解決力(地域力)の向上 地域力を高めるため、地域内での情報の密度を引き上げ、経済や文化、人づくりが響きあう地域づくりを推進</b></p> <p>(24)富山の地域共生力の強化による地域価値の向上 ○「ソーシャルキャピタル・マイレージ制度」の導入 ○食品ロス・食品廃棄物の削減など環境トップランナーとしての取組 ○多言語等に対応した生活環境の整備、世界に開かれた地域づくり</p> <p>(25)健康寿命日本一とやま ○高齢者等の健康づくりの取組みを促す健康ポイント制度の導入 ○ウェアラブル端末の活用による見守りなどの体制整備</p> <p>(26)先端技術を活用した公共交通のインフラ充実と利便性の向上 ○自動運転公共交通提供システムや交通情報翻訳システムの整備</p> <p>(27)最先端技術を活かした防災先進県の実現 ○災害情報の共有・発信、G空間社会による迅速な初動対応、システム化したインフラマネジメント</p>